

# 鎌倉地域の消防施設の 整備について

令和7年8月2日（土）・同年8月5日（火）

鎌倉市 消防総務課・公的不動産活用課



# 本日のテーマ

- (1) 現状と課題、事業計画
- (2) これまでの経過
- (3) 進捗状況
  - ・基本計画の策定について
  - ・設計業務について
  - ・環境影響調査の実施
- (4) 今後のスケジュール
- (5) 質疑応答



KAMAKURA CITY



鎌倉市

# (1)現状と課題、事業計画





# 現状と課題

## 【鎌倉消防署】



昭和49年に竣工して以来、51年の月日が経過しており、建物本体の老朽化で不具合が相次いで発生し、特に塩害により外壁の劣化が進み、早期の建替えが必要な状況です。

現在地は、津波浸水想定区域内に位置していることから、大規模地震による津波発生時の消防力の機能維持が困難な状況であり移転整備が必要です。

## 【浄明寺出張所】

昭和53年に竣工して以来、47年の月日が経過しており、建物本体の老朽化で不具合が相次いで発生している状況です。現在地は、土砂災害特別警戒区域に位置していることから、土砂災害時の消防力の機能維持が困難な状況であり、図表3に示す南東側が逗子市に位置しているため、鎌倉地域の消防力を効率的に発揮するためには、現在地から移転しての整備が必要です。



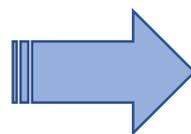


# 事業計画

令和6年3月に改訂した「鎌倉市公共施設再編計画」において、消防施設全体の再編方針として、消防署・出張所等の複合化・移転・統合を行うことや、津波浸水へ対応するため津波の影響の少ない場所への移転などを計画しています。

## 建設候補地の条件

- (1) 現在の2つの施設の受持ちエリアをカバーできる場所
- (2) 津波浸水想定区域外
- (3) 土砂災害特別警戒区域外
- (4) 幹線道路沿い



上記の条件を考慮し、

雪ノ下近辺での整備が適切

と判断しました。



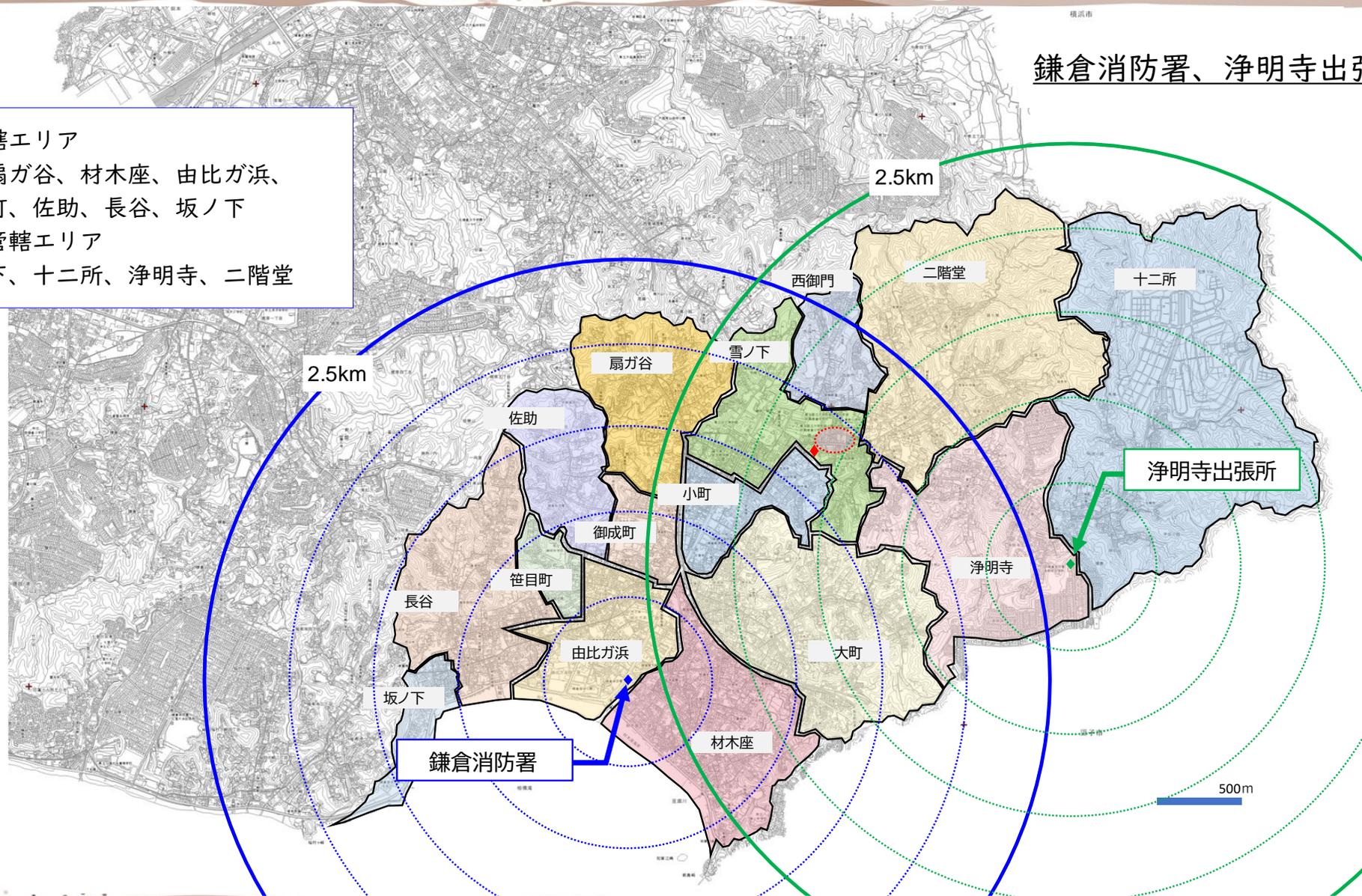
鎌倉消防署、浄明寺出張所の管轄エリア

○鎌倉消防署の管轄エリア

小町、大町、扇ガ谷、材木座、由比ガ浜、  
御成町、笹目町、佐助、長谷、坂ノ下

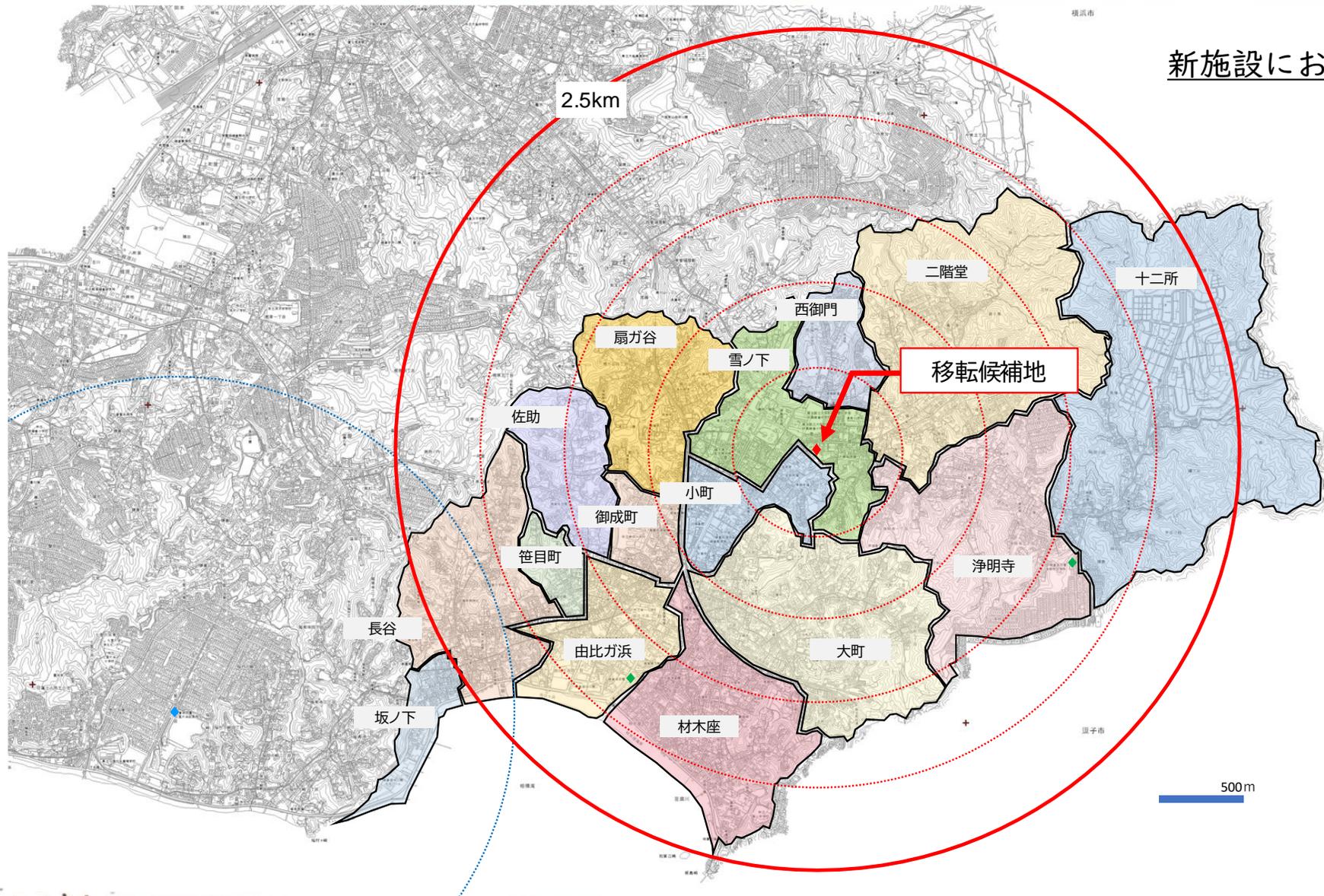
○浄明寺出張所の管轄エリア

西御門、雪ノ下、十二所、浄明寺、二階堂





## 新施設における管轄エリア

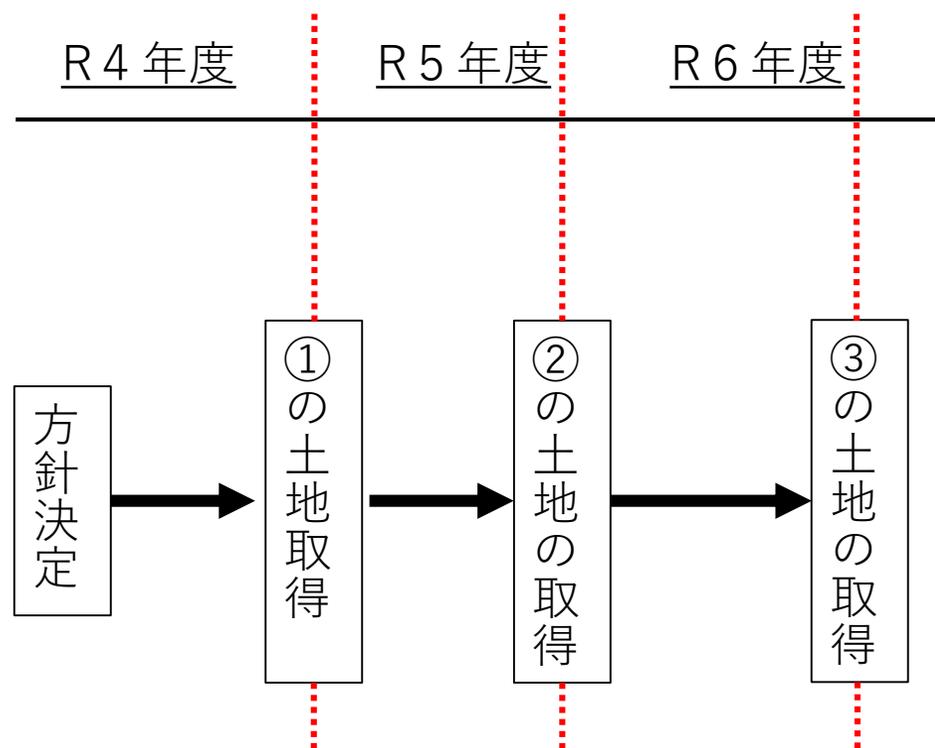




## (2) これまでの経過



# 土地の取得について



土地の面積：約833㎡



※令和6年度で建設候補地の取得を完了





# 基本計画の策定について

「鎌倉市公共施設再編計画（改訂版）」の消防庁舎の再編計画を踏まえて、(仮称)雪ノ下消防出張所の建設に向けて、鎌倉地域の消防力を維持し、移転整備する消防庁舎の規模や求める機能等の基本的な考え方を整理しました。

令和7年度から令和9年度にかけて実施する基本設計、実施設計に向けた基礎資料となる基本計画を策定しました。

(仮称) 雪ノ下消防出張所整備基本計画



令和7年(2025年)5月  
鎌倉市消防本部

※説明会終了後、HPに公表



# 施設整備の基本方針





### (1) 機能的で快適な労働環境の整備

24時間勤務体制の消防庁舎において、執務空間のフレキシブル化や仮眠室の個室化を進め、職員が快適に過ごせる空間を提供する。また、女性職員や多様な職員に対する環境整備を行い、働く意欲の向上を図る。

### (2) 効率的な災害対応の強化

火災や救急、自然災害に迅速に対応できるように、出動動線を配慮した設計を採用するとともに、限られたスペースで実践的な訓練が可能な訓練施設を設ける。大規模災害時にも消防機能を損なわない庁舎とし、迅速で効果的な対応を可能にし、市民への講習会や研修を通して地域全体の防災能力を向上させ、地域の安全性を高める取り組みを行う。

### (3) 周辺地域への影響軽減とデザインの調和

消防庁舎建設による日影や出動時のサイレン音、訓練時の音が近隣に及ぼす影響を最低限に抑えるための遮音設計を行い、街並みに調和したデザインを採用する。

### (4) 将来の変動と周辺環境への配慮

女性職員の増加や多様性の尊重に対応できるよう、将来の勤務体制や組織改革への柔軟性を持たせ、周辺環境との調和を図り、耐震性能や環境に配慮した消防の活動拠点としての機能を持つ庁舎を目指す。



# 施設の概要



## 施設の概要等

- ・施設名称：（仮称）雪ノ下消防出張所
- ・延べ面積：1,400㎡程度
- ・規模・構造：地上4階・地下1階建て  
※鉄筋コンクリート造または鉄骨造
- ・配置予定人員

総員52人程度  
（1担当26人・2担当26人）

常時勤務員16人程度

## 配置予定車両：7台

No.	配置車種	設置場所	長さ[cm]	幅[cm]	高さ[cm]
1	消防車1	車庫内	585	194	285
2	消防車2	車庫内	735	230	318
3	救急車1	車庫内	564	189	249
4	救急車2	車庫内	565	189	249
5	牽引車	車庫内	481	179	207
6	トレーラー（水上バイク積載）	車庫内	490	169	90
7	災害用多目的車	車庫内	339	147	186



## (仮称) 雪ノ下消防出張所 配置車両 7台

- ① 指揮車 (牽引車)
- ② 水槽付きポンプ車
- ③ 水槽付きポンプ車
- ④ 救急車
- ⑤ 救急車
- ⑥ 水上バイク・トレーラ
- ⑦ 災害対応多目的車





# 設計業務等のスケジュール

R7年度

R8年度

R9年度

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

基本設計10か月

実施設計10か月

調査結果の中間案  
説明

基本設計の説明・確定

11月  
業者契約

8月末  
設計終了

プロポーザルにより、設計業者を選定

設計業者選定

環境影響調査

地盤調査

発掘調査（約1年）



# 環境影響調査の実施について

## 〈懸念事項〉

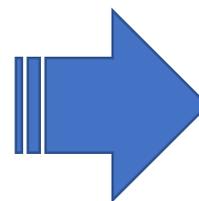
- ・ 新たな庁舎建設にあたり、緊急車両のサイレン音など地域に与える音の影響
- ・ 道路渋滞に伴う緊急車両の到着時間

## 〈調査内容〉

- ・ 騒音調査・交通量調査
- ・ 移転先の調査（雪ノ下）
- ・ 移転元の調査（鎌倉消防署・浄明寺出張所）

## 〈目的〉

- ・ 調査結果を分析し、設計業務に反映



消防庁舎の建設が地域  
住民に与える影響を

最小限にするための対  
策を検討していきます



# (7) 今後のスケジュール



# 今後のスケジュールについて

	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)	R7年度 (2025年度)	R8年度 (2026年度)	R9年度 (2027年度)	R10年度 (2028年度)
方針決定	→						
用地取得	→						
基本計画			→				
設計				基本設計 →	実施設計 →		
発掘調査					→		
庁舎工事						→	



# (8) 質疑応答